

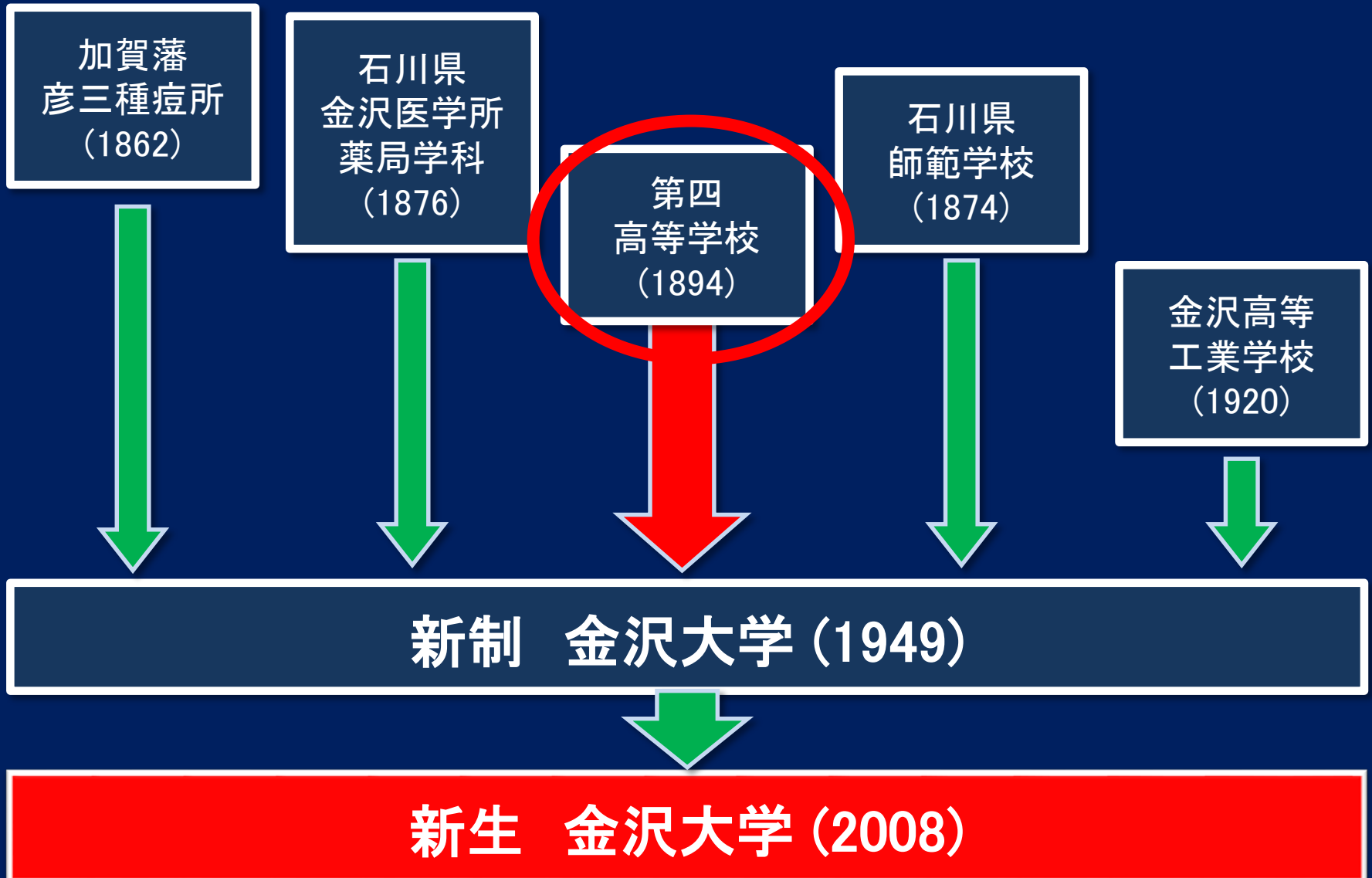
「金沢大学ブランド」人材の育成に向けて ～教育のグローバル化とは何か？～

Mar. 5, 2018

金沢大学副学長(教育担当理事)

柴田正良

金沢大学の歴史



3学域17学類(2018年度～)

人間社会学域

- 人文学類
- 法学類
- 経済学類
- 学校教育学類
- 地域創造学類
- 国際学類

理工学域

- 数物科学類
- 物質化学類
- 機械工学類
- フロンティア工学類
- 電子情報通信学類
- 地球社会基盤学類
- 生命理工学類

医薬保健学域

- 医学類
- 薬学類
- 創薬科学類
- 保健学類

金沢大学憲章

基本理念 「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」

教育目標 「専門知識と課題探求能力、さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材育成」

金沢大学の10年後(2023年)の姿

- 1 独自のグローバル人材育成スタンダード(KUGS)に基づく国際標準の質の高い教育を提供する大学
- 2 世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材を輩出し、日本のグローバル化を牽引する大学
- 3 東アジアの地において、世界の高等教育研究ネットワークの中核に位置する大学

**大学の国際化・グローバル化の
「金沢大学モデル」を確立**

金沢大学憲章



グローバル社会で育成すべき人材像を具体化



金沢大学 <グローバル> スタンダード



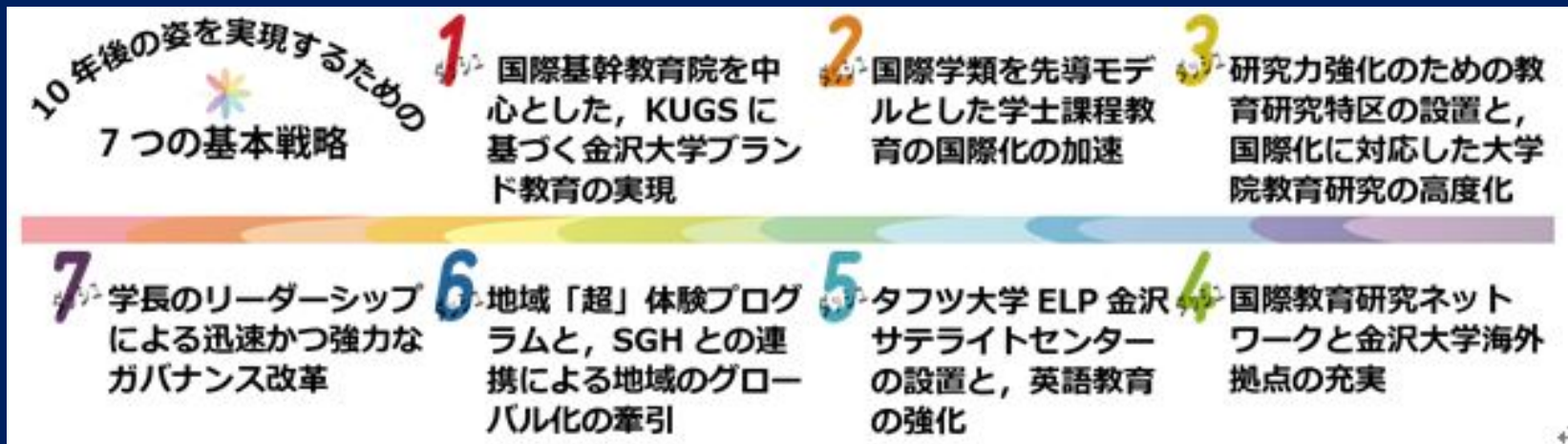
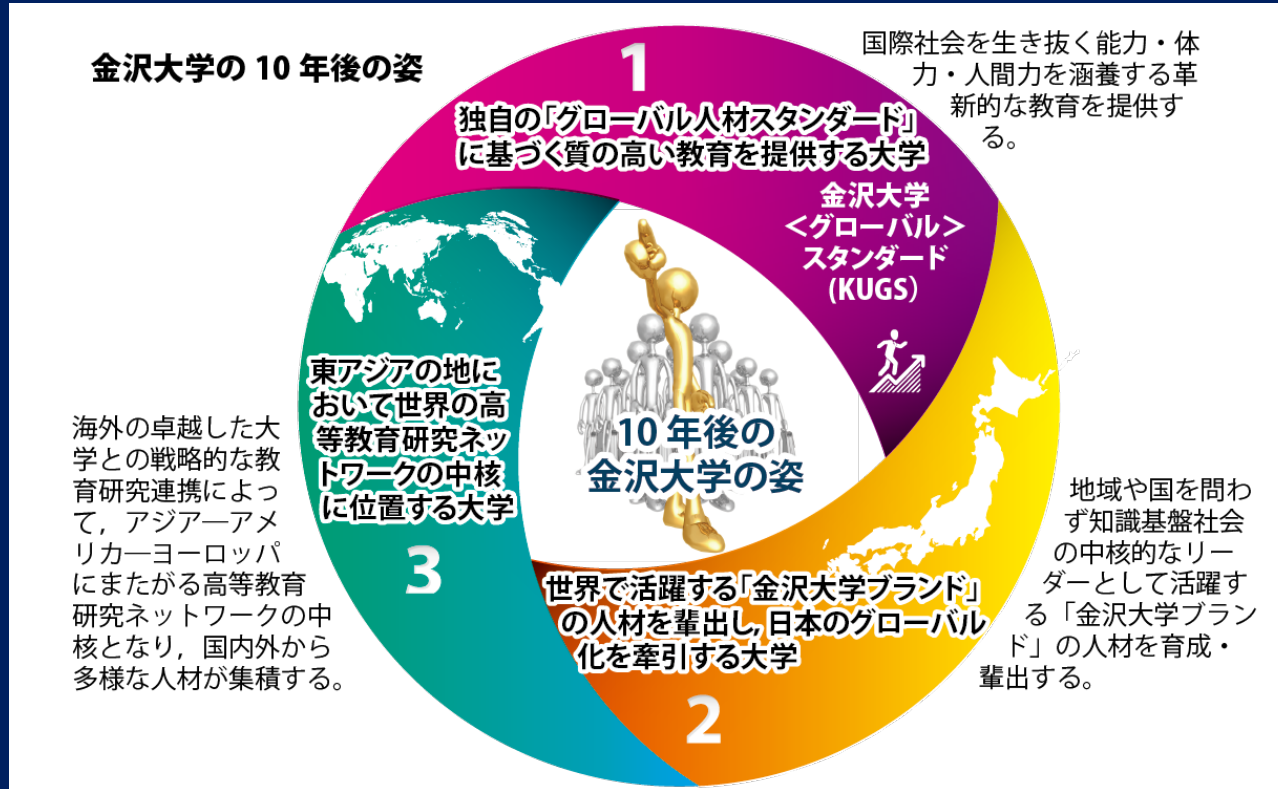
KUGS

Kanazawa University "Global" Standard

各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし、知識基盤社会の中核的なリーダーとなって、常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける次の能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。

1. 自己の立ち位置を知る
2. 自己を知り、自己を鍛える
3. 考え・価値観を表現する
4. 世界とつながる
5. 未来の課題に取り組む

金沢大学が目指す将来の姿



国際基幹教育院を中心とした、 KUGSに基づく金沢大学ブランド教育の実現

国際基幹教育院の設置 (H28.4.1設置)

KUGSに基づく基幹教育を強固に推進

共通教育だけでなく、学士専門課程教育、大学院教育まで
教育全体の高度化と国際化を牽引

GS教育部門

外国語教育部門

国際教育部門

リメディアル・基礎科目教育部門

高等教育開発・支援部門

全5部門

約60名の

専任教員

新規配置



◆ 共通教育科目を大幅改革

約300科目の共通教育科目を30のGS科目に集約

H28年度 1年次生全員受講(1,763名)

クォーター制の導入 (H28.4.1設置)

共通教育課程 原則完全クォーター制を導入

専門教育課程 セメスター制の特性を残せる柔軟なクォーター制を導入

H27年度まで

H28年度から

約300科目の共通教育科目 → 30のGS科目に集約

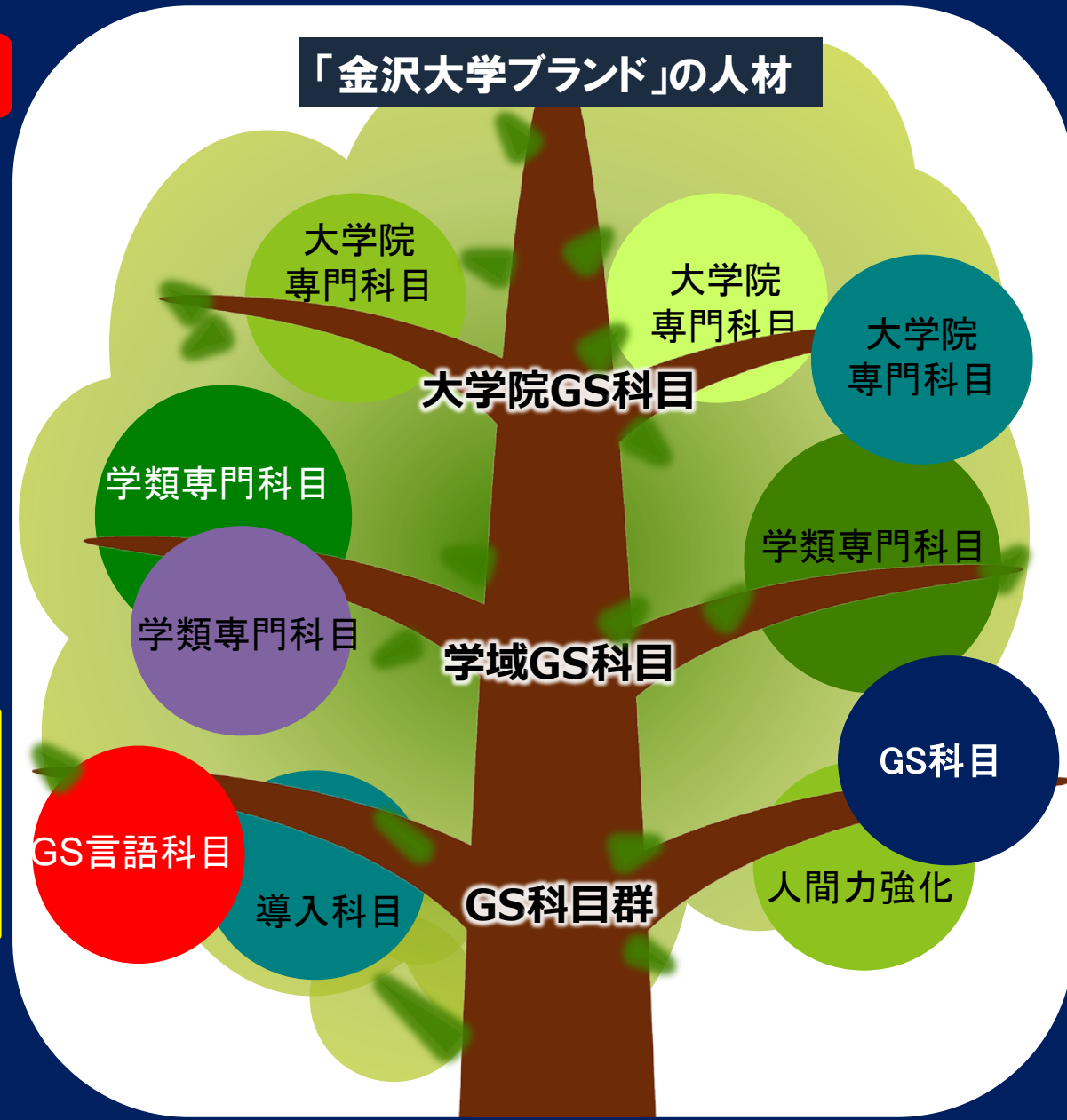
GS科目一覧

1.自己の立ち位置を知る	2.自己を知り、自己を鍛える	3.考え・価値観を表現する	4.世界とつながる	5.未来の課題に取り組む
現代世界への歴史学的アプローチ	哲学(自我論)	プレゼン・ディベート論 (初学者ゼミⅡ)	金沢・能登と世界の地域文化	科学技術と科学方法論
グローバル時代の政治経済学	パーソナリティ心理学	クリティカル・シンキング	日本史・日本文化	統計学から未来を見る
グローバル時代の社会学	グローバル時代の文学	価値と情動の認知科学	異文化間コミュニケーション	情報の科学
ケーススタディによる応用倫理学	健康科学	論理学から見る世界／数学的発想法	異文化体験	環境学とESD
地球生物圏と人間	細胞・分子生物学	芸術と自己表現	国際社会とボランティア	生活と社会保障
物理の世界／化学の世界	エクササイズ&スポーツ 実技	スポーツ科学	グローバル社会と地域の課題	人権・ジェンダー論

国際基幹教育院の創設

「金沢大学ブランド」人材育成のため、**金沢大学<グローバル>スタンダード (KUGS)** に基づく基幹教育の推進により、本学の教育全体の高度化と国際化を牽引することを目的として平成28年度に設立

基幹教育とは、「学士課程、修士課程及び博士課程それぞれの教育の基盤をなす教養的教育」のこと。



共通教育英語科目の抜本的改革

旧来の英語授業を以下の2コースに再編し、全学生(8単位)必修化

◆「TOEIC準備」コース(I~IV, 総計4単位)

リスニング・リーディング能力向上

習熟度別クラス(センター試験得点の利用:クラス指定)

✓ TOEIC-IP受験必須化(TOEIC準備IVで受験)

✓ 厳格な成績評価

- 全学共通試験/ TOEIC-IPの得点が8割



◆「EAP」コース(I~IV, 総計4単位)

EAP: English for Academic Purposes

大学での学修に必要な英語力育成

✓ 少人数制(1クラス20~30人・クラス指定)

✓ 授業は英語で

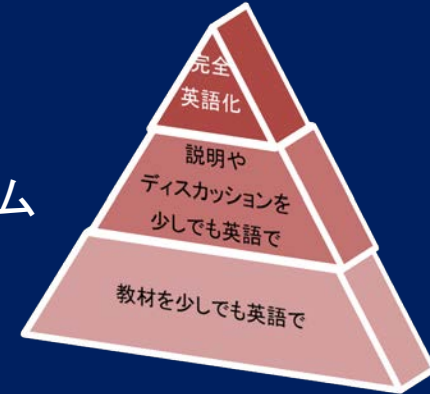
✓ ルーブリック:精緻な成績評価



国際学類を先導モデルとした 学士専門課程教育の国際化の加速

英語による授業科目の拡大

教員採用の際に、英語による授業担当を原則必須化
 スーパーグローバルELPセンターにおける教員対象英語プログラム
 英語による授業実施に対するインセンティブ制度の整備
 外国人教員採用に適した人事制度・採用後の支援体制の整備



⇒H28 外国語による授業科目割合 学士課程 7.1% 大学院課程 25.9% 達成
 英語のみ 学士課程 6.4% 大学院課程 25.7% 達成

学士課程に英語のみで卒業できるプログラムを6プログラム設置

強み・特色をいかした教育研究組織編成

人間社会学域

地域創造学類 *新たなニーズに対応する教育プログラムの見直しと定員規模の増加*

「観光学・文化継承コース」**新コース** **入学定員 25名減 (学域全体)**
 金沢らしい観光学や伝統資源に関する教育を新たに提供し地域に還元できる人材を育成

国際学類 *新たなニーズに対応する定員規模の増加*

経済学類 *社会状況や定員充足等を踏まえた教育プログラムの抜本的な見直しと、定員規模の縮小*

理工学域

既存の6学類を7学類に再編 新たに3学類創設

【改組前】	改組なし	【改組後】
数物科学類	改組なし	数物科学類
物質化学類	改組なし	物質化学類
機械工学類		機械工学類
電子情報学類		フロンティア工学類
環境デザイン学類		電子情報通信学類
自然システム学類		地球社会基盤学類
		生命理工学類

入学定員 25名増 (学域全体)

平成20年度に国立大学としては数少ない国際系の学類として設置

入学当初からの強い留学への動機づけ

- ・新入生TOEFL-ITP全員受験実施。新入生歓迎合宿での留学経験者との語り合い（学類独自で外国語検定試験受験補助を実施）

教員、留学経験者が一体となった留学希望者へのきめ細やかなサポート

- ・学類として留学出発者、留学経験者、留学希望者が一堂に会する「留学壮行会」を実施
- ・留学にあたって、各種申請書作成・面接練習に教員・留学経験先輩学生によりサポート

平成30年度から国際学類の入学定員を拡大（70人→85人）

平成32年度入試から私費外国人入学試験から日本語を除外し、留学生受入れを増大し、さらなる国際化を推進

➡ 金沢大学のグローバル化のリーディング学類としての役割をさらに強化

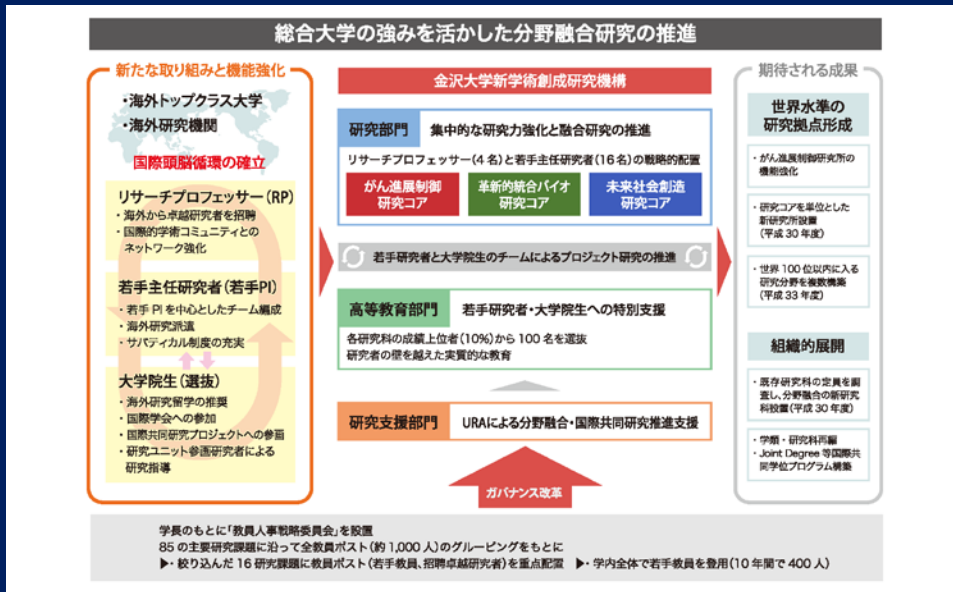
日本人学生の海外派遣者割合

年度	国際学類	学士全体
H27	32.2%	2.9%
H28	35.9%	5.8%

授業科目の英語化・外国語化割合

年度	英語		外国語	
	国際学類	学士全体	国際学類	学士全体
H28	26.2%	6.4%	26.9%	7.1%
H29	41.0%	13.2%	61.5%	17.9%

新学術創成研究機構の設置 (H27.4.1設置)



大学院生への充実した教育プログラム

新学術創成研究機構高等教育部門において、大学院生への教育プログラムを実施

◆海外一流研究機関への留学派遣

◆高度TA制度

将来の教育者として求められる教授法をトレーニングする高度TA制度を導入

国際化に対応した大学院の設置

先進予防医学研究科 (H28.4.1設置)

先進予防医学共同専攻
千葉大学・長崎大学との共同教育課程
0次予防から3次予防まで包括した「個別化予防」を実践できる人材を育成

入学定員 **12名**

平成28年度 入学者14名

教職実践研究科 (H28.4.1設置)

教職実践高度化専攻
地域や家庭と連携しつつ学校の管理運営において指導的役割を果たし得る中核的教員を養成

入学定員 **15名**

平成28年度 入学者15名

新学術創成研究科 (H30.4設置予定)

融合科学共同専攻 科学技術イノベーションを担う高度専門人材を養成

金沢大学 新学術創成研究科 JAIST 先端科学技術研究科

共同教育課程

融合科学共同専攻 (M・D) Division of Transdisciplinary Sciences
【博士前期2年制】・【博士後期3年制(予定)】

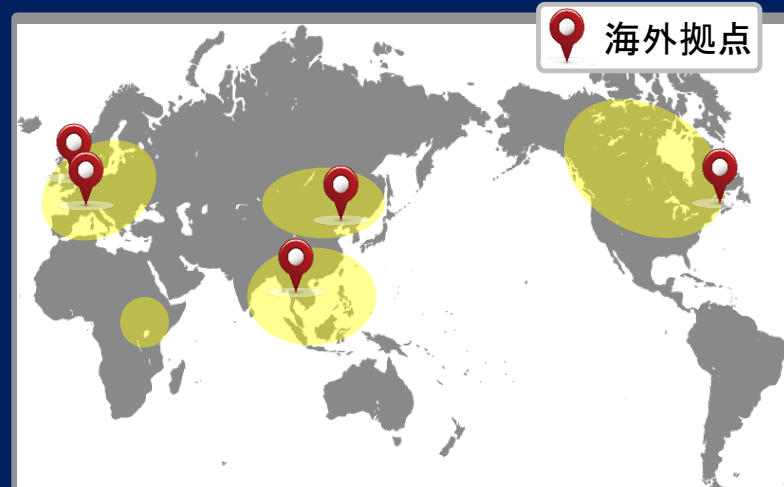
学位 博士・修士(融合科学) (Doctor/Master of Philosophy)

海外拠点の整備・充実

地域ごとの情報収集及び教育研究活動の拠点を整備

海外 拠点

- 北米地域：タフツ大学（H28.12月拠点設置）
- ASEAN地域：モンクット王工科大学トンブリ校（H29.10月拠点拡充）
- EU地域：ゲント大学（H27.5月拠点設置）
エジンバラ大学（交渉中）
- 中国（H28.10月 北京事務所設置）



若手研究者、大学院生の頭脳循環のため研究でも機関レベルの関係構築に向け、研究ジョイントシンポジウムを開催

- ◆H28 米国・タフツ大学、ベトナム・カントー大学
- ◆H29 ベルギー・ゲント大学、フランス・ストラスブール大学、タイ・プリンスオブソンクラ大学、ベトナム・カントー大学



海外同窓会の充実とコラボラティブ・プロフェッサー

◆海外同窓会の充実

平成26年度からタイ（H26.8）、中国（H26.11）、インドネシア（H28.1）に新たに設立
H30.1 ベトナムで第2回海外同窓会総会を開催

◆コラボラティブ・プロフェッサー

本学の卒業生・修了生で海外大学等の教育研究職についた者を中心に、本学の海外展開のサポートを行う「コラボラティブ・プロフェッサー」制度を拡充。100名を超える教員等に委嘱

金沢大学スーパーグローバルELPセンターの設置(H27.3)

※ English Language Programs

米国タフツ大学のスタッフが角間キャンパスに常駐し、
本学全ての学生・教職員の英語力強化を牽引



教員: アカデミック英語研修

- 教員向けアカデミック英語全般
- 英語での教授法, カリキュラム及びコース開発法
- 毎年春と秋の2コース実施
- これまで6コース実施。150名を超える教員が受講

職員: ビジネス英語研修

- 英語能力全般
- ビジネス文書, 状況別ビジネス語彙(発表, 交渉, 広報, 会計, e-ビジネス)
- 毎週90分計15回の授業
- これまで3期6コース実施。約100名の職員が受講

学生: 英語力強化研修(1年間通年)

- 前期(Q1, Q2)はTOEFL・IELTS等の国際試験準備
- 後期(Q3, Q4)はアメリカの大学1~2年生レベルの授業体験
- H27年度受講者 34名中28名(82.3%)が、その後海外派遣プログラムへ参加
- H28年度受講者 33名中27名(81.8%)が、その後海外派遣プログラムへ参加



英語教育の充実

- ◆ 共通教育英語科目を大幅改革
- ◆ 平成28年度入学生からTOEIC受験義務化
(平成30年度から複数回受験)
- ◆ 個々の学生に対応する英語学習アドバイザーの導入



海外派遣の推進

- ◆ 派遣プログラムの拡充、学内奨学金等の見直し
H25 174人 → H28 502人(約3倍に増加)
- ◆ ELPセンターによる留学前プログラムの実施



キャンパスのグローバル化推進

- ◆ 混住型学生留学生宿舍「先魁(さきがけ)」に加え、
「北溟(ほくめい)」新築(H29.4)
- ◆ 附属図書館に国際交流スタジオを整備(H28.3)



英語学習の**継続的強化**をはかる

地域「超」体験プログラムによる 地域のグローバル化の牽引

地域「超」体験プログラムの実施

- ◆ 共通教育科目として開講
学長と学生が2泊3日の合宿を行い、座禅や下草刈りなど、様々な経験を通じ、精神力・体力・実践力などの必要性を認識しつつ、人間力の向上を図る
- ◆ 平成27年度からは年4回実施。毎年100人を超える学生が参加
- ◆ 平成30年度から本プログラムをモデルとして、各学類が主催する「協働的体験教育プログラム」へ拡充



入試改革と高大連携

- ◆ H30年度入試から
文系の全て、理系の全ての学類を対象とした、「**文系後期一括**」・「**理系後期一括**」を導入
英語外部検定試験の活用を拡大。ほぼ全ての学類で活用を開始
- ◆ H31年度入試以降
KUGS特別入試 時間をかけて生徒の能力を見極め、KUGSにかなう人材を広く全国から求める
超然特別入試 特異な才能を活かしてエキスパートとして活躍できる人材を求める

大学コンソーシアム石川とSGH等 との連携による地域のグローバル化の牽引

大学コンソーシアム石川と連携したグローバル人材の育成

◆トビタテ！留学JAPAN 地域人材コース

石川県の地域活性化の鍵となるグローバル人材を育成するために、地域貢献に意欲のある学生の留学を支援



◆タイ王国・ベトナム海外インターンシップ・プログラム

石川県、県内企業と連携し、東南アジアに進出する石川県ゆかりの企業でのインターンシップを実施し、次代の石川を担うグローバル人材の輩出を図る

北陸地区の高校を中心とした高大連携の推進

◆JSTグローバルサイエンスキャンパス(GSC)事業

「世界でかがやく科学技術イノベーション人材の育成」

北陸先端科学技術大学院大学(JAIST)との連携による高大連携プログラムを実施

◆北陸地方の高校を対象としたKU-GLOCSシンポジウムを開催

H28,H29に本学のSGU事業の取り組み等を紹介する
KU-GLOCSシンポジウムを開催

石川県内を中心に、各回150人を超える高校生参加



学長のリーダーシップによる 迅速かつ強力なガバナンス改革

学長のリーダーシップによる事業実施体制の構築

SGU推進委員会



7つの基本戦略に基づく、
大学改革と国際化の行動
計画の策定・進行管理・自
己評価

- 委員長: 学長
- 委員: 理事, 副学長, SGU企
画・推進本部長, 関係学長補佐,
3研究域長, 国際基幹教育院長,
ほか委員長が必要と認めた者

SGU企画・推進本部



- 事業実施のための行動
計画案の作成と評価
- 事業の進捗管理
- 予算の管理
- 広報管理
- 委員会関係

- 本部長: 中西義信 学長補佐
(大学改革・研究担当)
- 本部員: グループリーダー(理事・副
学長), 関係副学長・学長補佐, 各研
究域代表者等, URA

理事・副学長をリーダーとする
5グループで事業推進
4半期毎に本部長によるヒアリング実施



総務
G



研究
G



国際
G



教育
G



評価
G

SGU企画・推進室

専門の事務部門を設置。課長職及び
専任職員(計3名)、併任職員(計7名)を配置

ガバナンスの強化

- ◆ 部局長選考に係る複数候補者推薦制の運用
- ◆ 副学長の配置・活用
理事との兼任ではない特定の業務をマネジメントする副学長3名を配置
- ◆ 大学改革推進委員会・教員人事戦略委員会による意思決定
- ◆ 部局目標の設定及び目標達成度に係る部局評価の実施
 - ・ 学長による部局長へのヒアリングを経た上で、大学の改革・機能強化の方向性に沿った部局の運営目標を設定
 - ・ 部局長による部局の目標達成度を自己評価した上、学長による評価

→ 評価結果を予算配分に反映

大学改革・機能強化の促進

教員人事制度運用の促進

- ◆ リサーチプロフェッサー制度
- ◆ 年俸制
- ◆ コンカレント・アポイントメント制度(混合給与制)
- ◆ 新たな教員評価制度の導入
H28年度運用開始
年俸制、特任教員を除く約830名を対象とした、
目標管理型の評価制度を導入し、給与処遇への反映

学内外の優秀な人材の確保

Topic!!

学生のSGU事業への参画 KU-SGU Student Staffの発足

- ◆ SGU事業推進のため、学生スタッフ組織「KU-SGU Student Staff」が発足
- ◆ 15名の学生が所属(学士1年生から博士後期課程まで、留学生も参加)
- ◆ 「学生の立場からの大学全体の意識改革」を目標とする

【主な活動】

- 主に1年生を対象に「留学制度説明会」を開催。毎年100名近くの学生が参加。
- 「グローバルウィーク～君のキャリアアップだけを考えて国際交流フェスタ～」を開催
1週間で400名を超える学生がイベントに参加
- 留学経験者が個別留学相談を行う「留学なんでも相談かふえ」を開催



教育のグローバル化とは？

「金沢大学ブランド」の人材とは、一言でいえば、**国際感覚に優れ**、世界のどこでも活躍できる**タフな人材**である。

そのような人材の育成を、「**教育のグローバル化**」と呼ぼう。それを成功させるには、**世界で通用するスキル**と、それにも増して、**志の高さ**を、学生に**染みこませる**必要がある。

とくに、学生個人の人生と人類の未来との重ね合わせを可能とする、**倫理観と世界のヴィジョン**を明確に与えずして、**志の高さ**は学生に生まれない。

ご清聴ありがとうございました

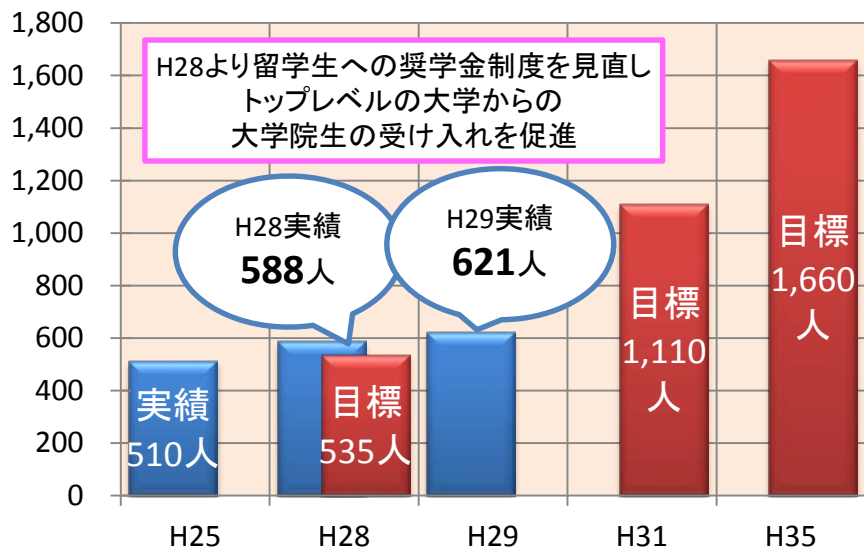
金沢大学はこれからも
バイリンガル・キャンパスの構築を通して
個性豊かな
真のグローバル大学を目指します

〈作成協力〉

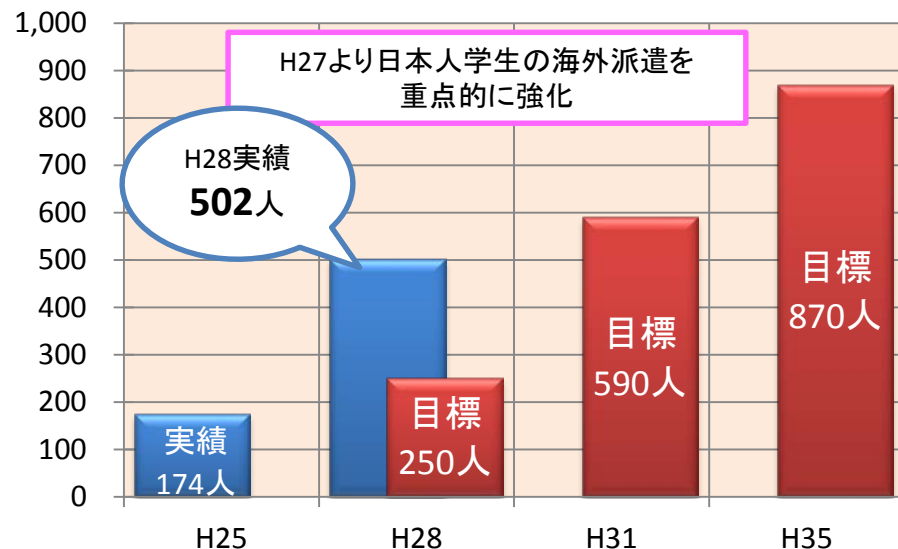
松村 典彦（スーパーグローバル大学企画・推進室）

以下、データ資料編

外国人留学生数 (5.1現在)



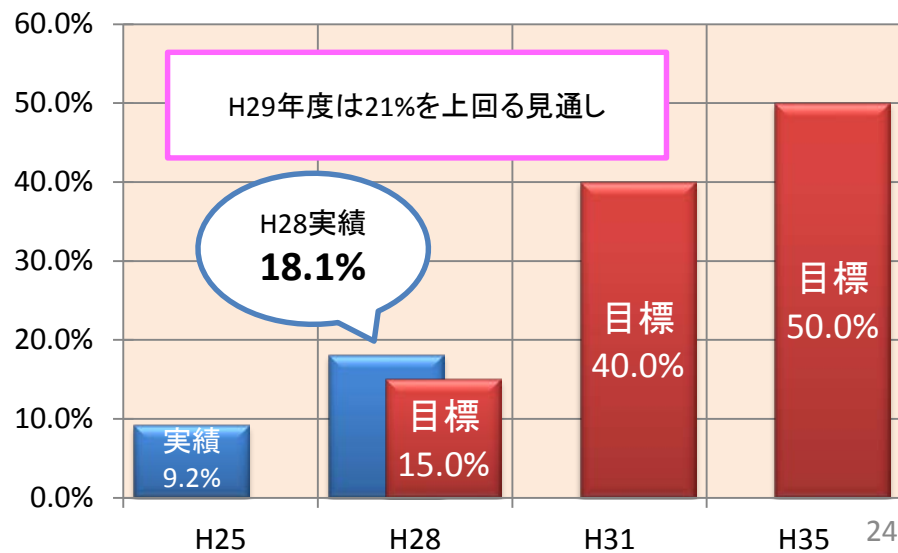
派遣日本人学生数



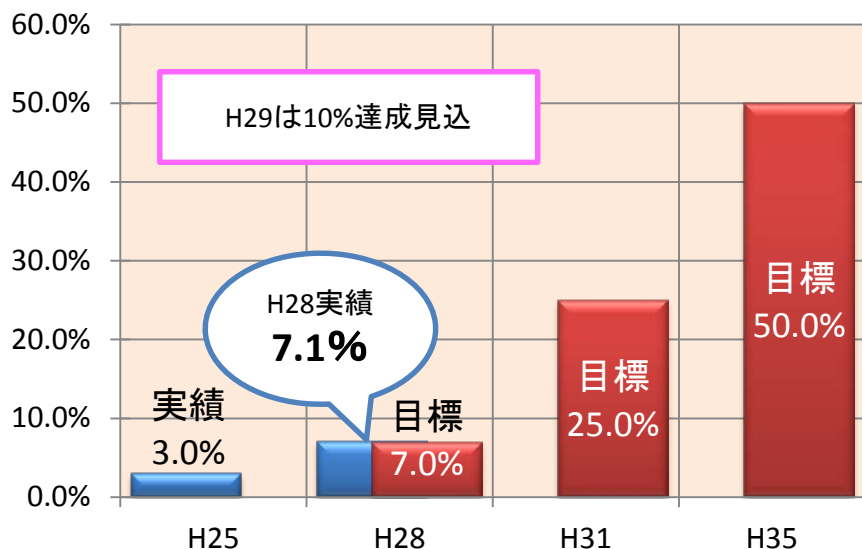
外国人留学生数 (通年)



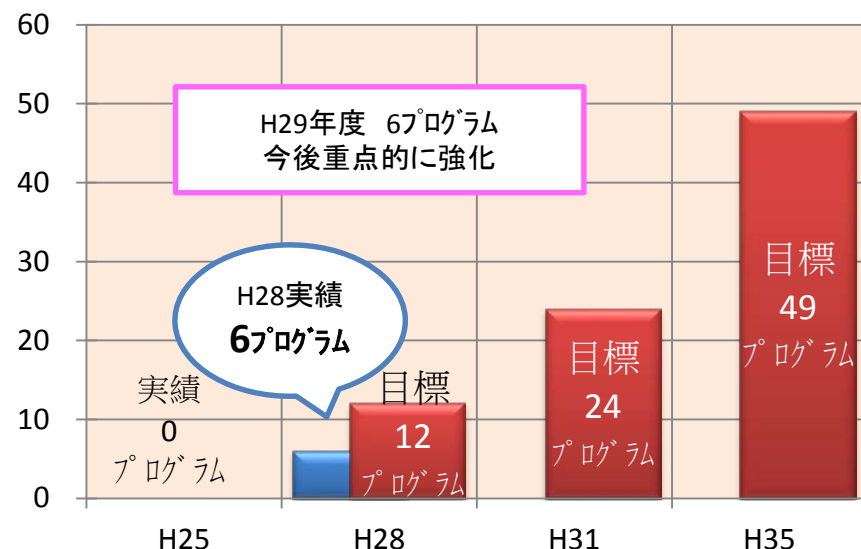
海外経験を有する学生の割合



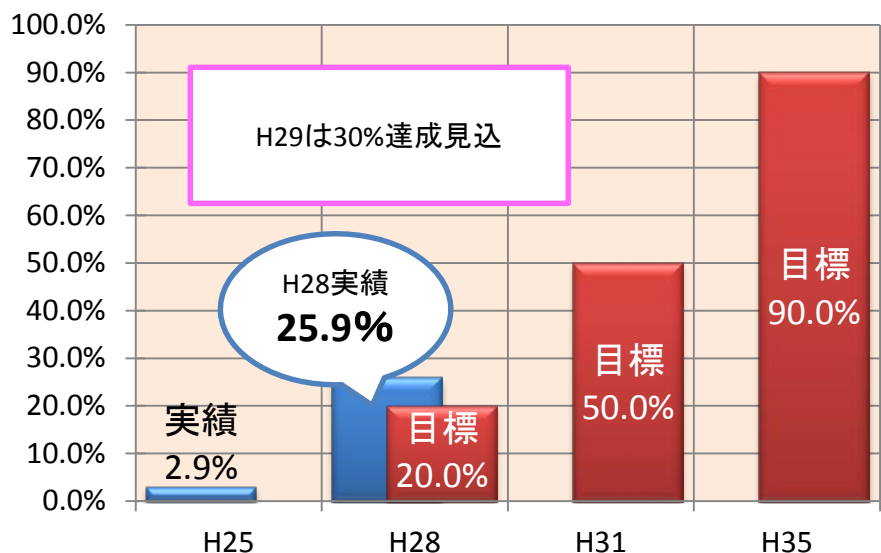
外国語による授業科目（学士）



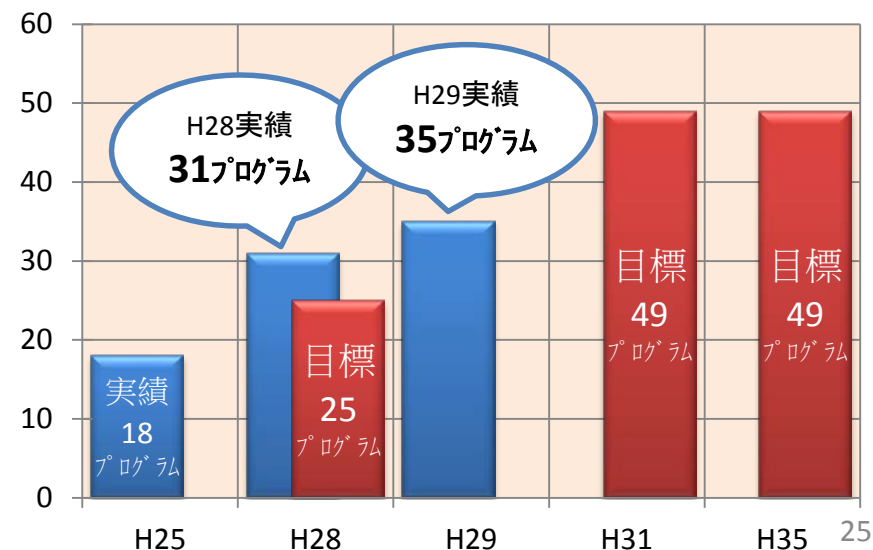
外国語のみで卒業できるプログラム（学士）



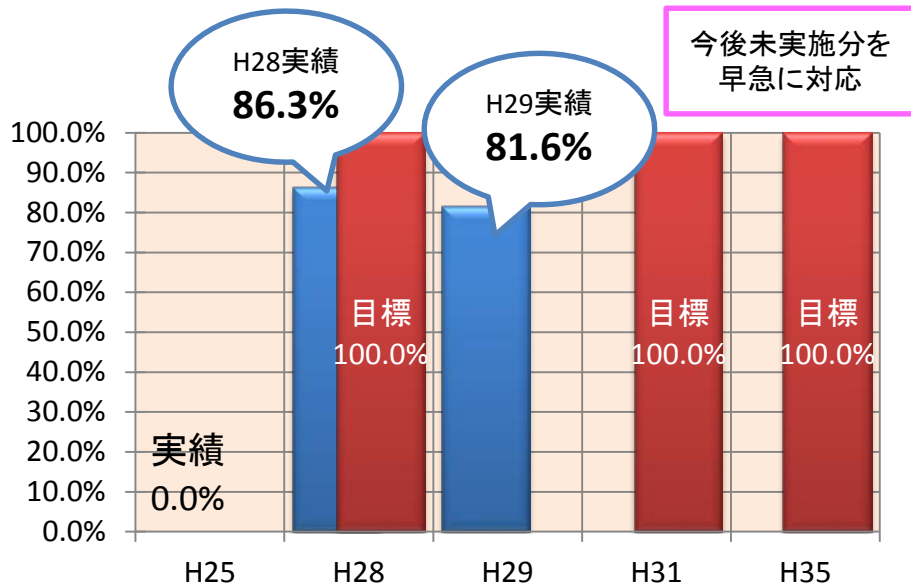
外国語による授業科目（大学院）



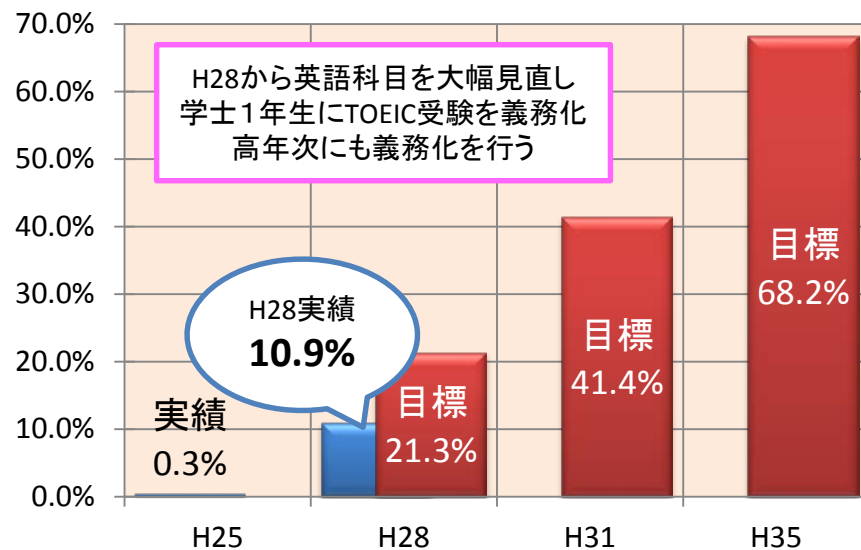
外国語のみで卒業できるプログラム（大学院）



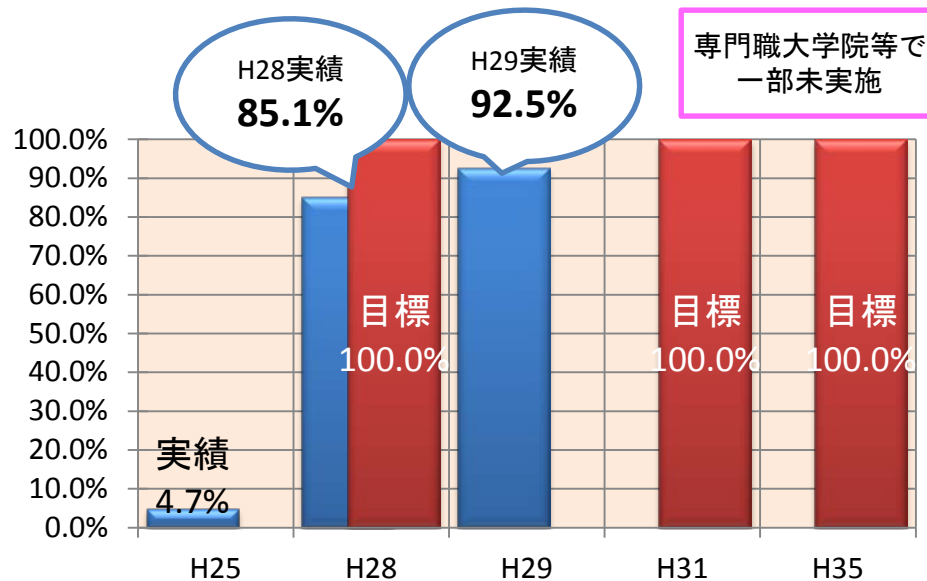
ナンバリング実施授業



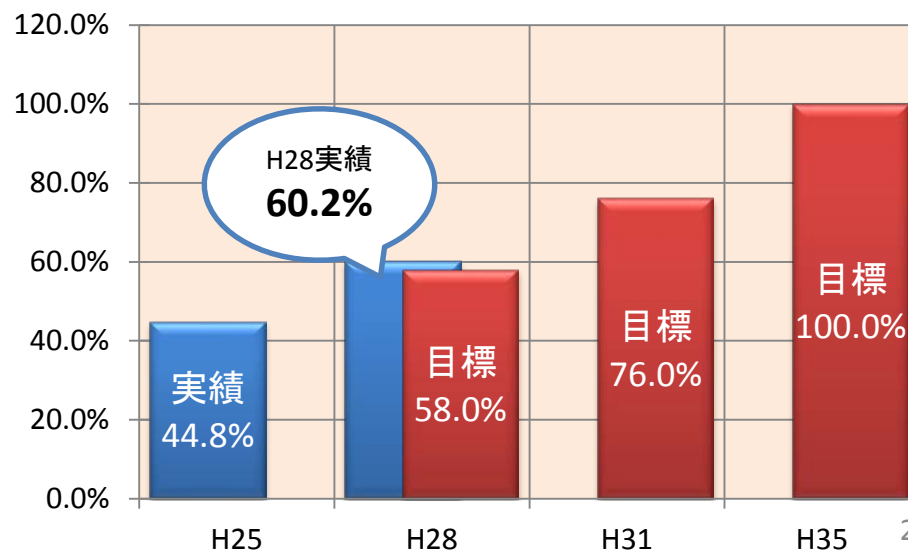
外国語力基準を満たす学生



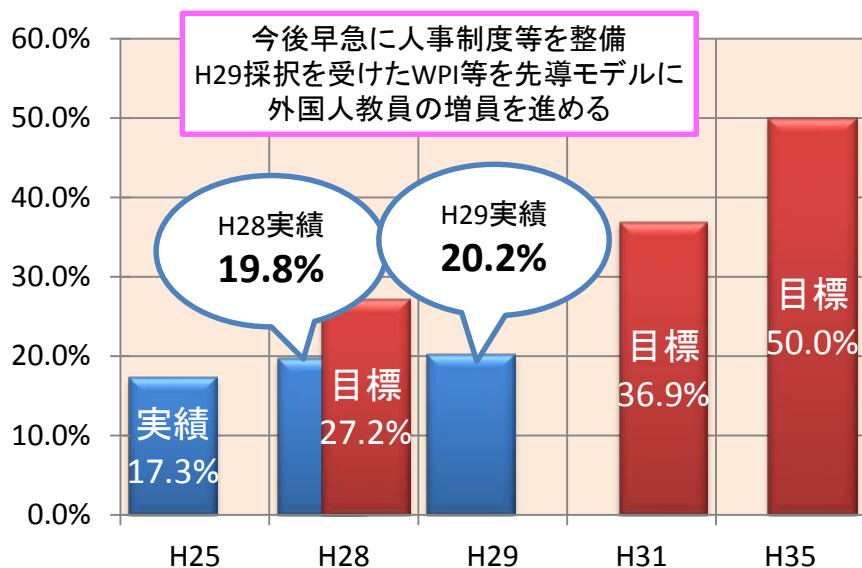
シラバスの英語化



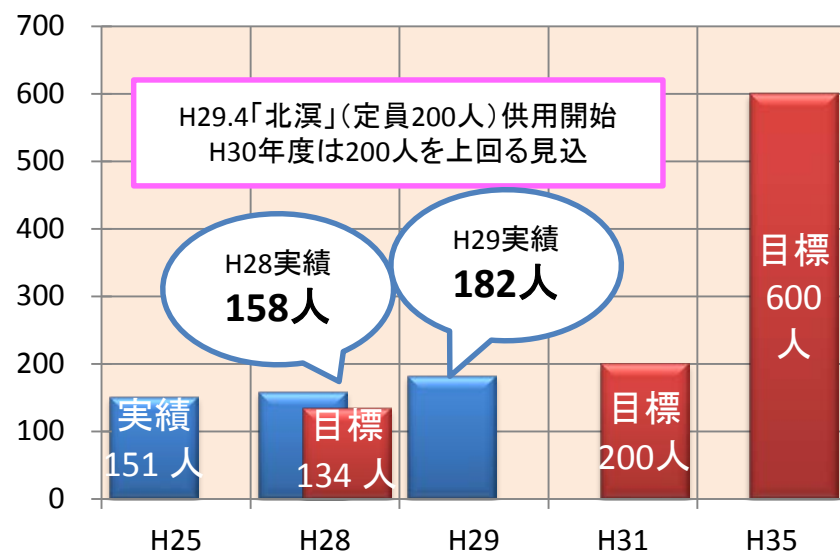
学生による授業評価実施科目



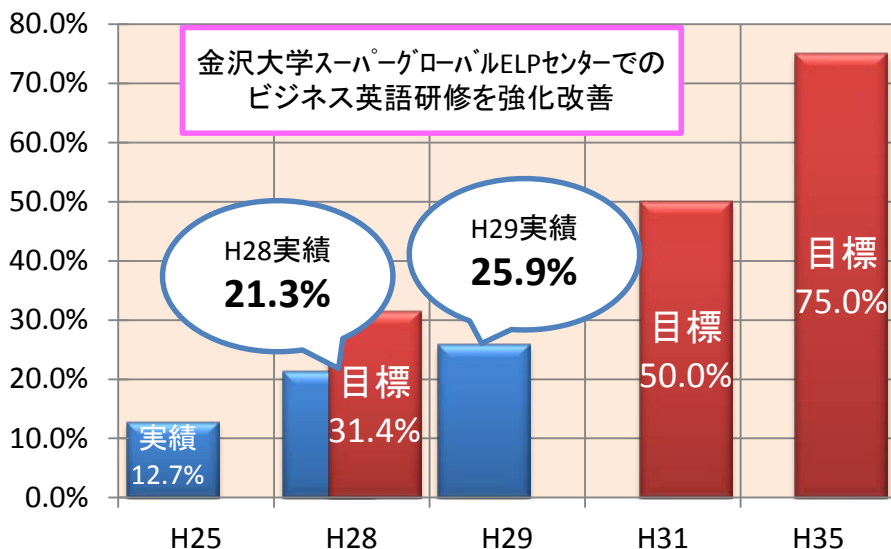
外国人教員等割合



混住型学生宿舎に入居する留学生数



外国語力基準を満たす職員



外部試験の学士課程入試への活用

